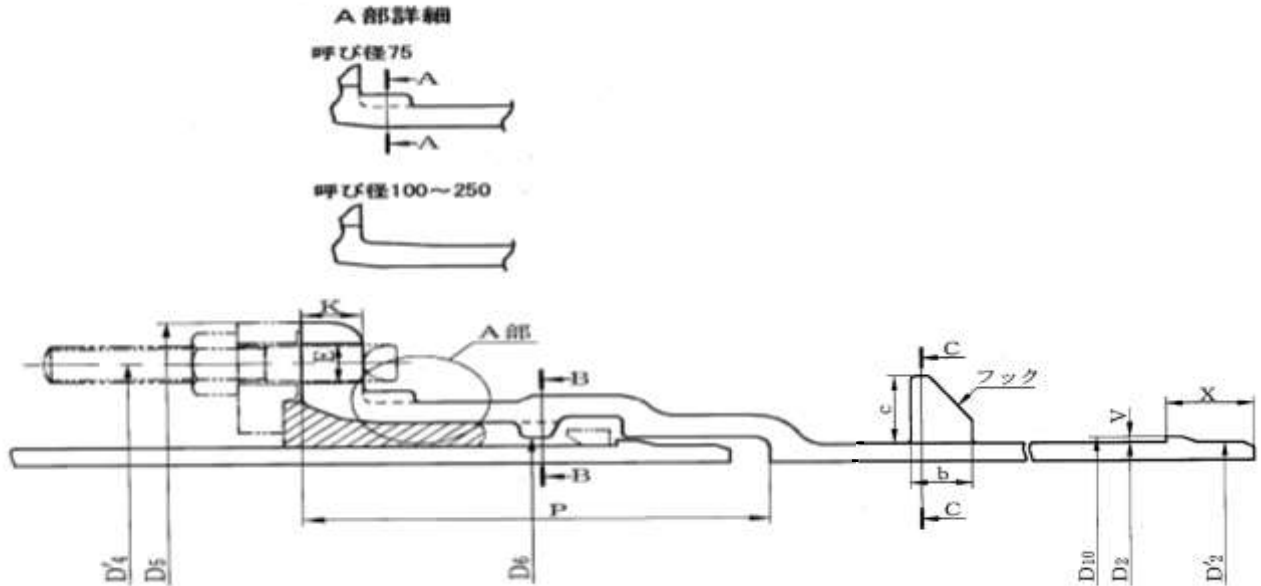
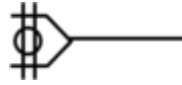


## G X形ダクタイル鋳鉄管 付属図, 3/35

### 2 G X形ダクタイル鋳鉄管 (異形管) 【出典: JCPA G 1049】



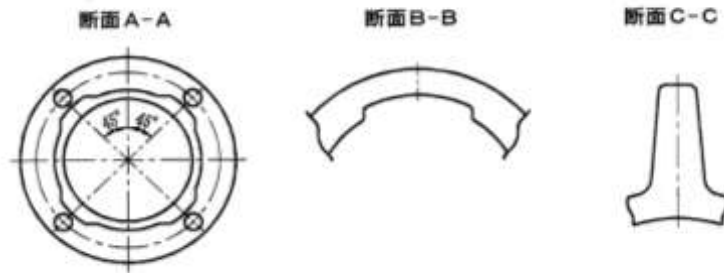
単位 mm

呼び径	外径		各部寸法						
	$D_2$	$D'_2$	$D'_4$	$D_5$	$D_6$	$D_{10}$	$E$	$K$	$P$
75	93.0	93.0	172	210	100.8	98.0	19	18	136.5
100	118.0	118.0	202	244	126.8	124.0	23	19	137.5
150	169.0	169.0	259	305	177.8	175.0	23	20	142.0
200	220.0	220.0	308	354	229.0	226.0	23	21	144.0
200	271.6	271.6	363	409	280.6	277.0	23	22	145.0

**備考 1.** ボルトあなの配置は、管のすべての軸線を水平にした場合に、その受口面の水平中心線に対し円周等分に振り分けとする。ただし、呼び径 250 は、垂直及び水平中心線上にボルトあながくるように円周等分に振り分ける。なお、フランジ付きT字管、浅層埋設形フランジ付きT字管及びうず巻式フランジ付きT字管のボルトあなの配置は、**付属図 13/35~付属図 15/35** による。

**2.** フックは、曲管 (**付属図 7/35~付属図 10/35**) 及び乙字管 (**付属図 17/35**) の挿し口側の管体部に設ける。この場合、フックの配置は、管のすべての軸線を水平にした場合の水平中心線上の左右 2 か所とする。

**G X形ダクタイトイル鑄鉄管 付属図, 4/35**  
**G X形ダクタイトイル鑄鉄管 (異形管) 【出典: JCPA G 1049】**



単位 mm

各部寸法		ボルト あなの 数	フック寸法		質量(kg)			呼び径 <i>D</i>
<i>V</i>	<i>X</i>		b	c	受口 突部	挿し口 突部	フック (2個)	
2.5	33	4	23	30	6.92	0.04	0.10	75
3.0	33	4	23	30	8.67	0.06	0.10	100
3.0	33	6	23	30	13.5	0.09	0.10	150
3.0	33	6	28	40	17.0	0.12	0.15	200
3.0	33	8	28	40	20.9	0.14	0.15	250